

平成24年10月7日(日)、公立山城病院 開設60周年記念式典と記念イベントを 開催いたしました。

去る10月7日(日)、開設60周年記念式典(本津川市中央交流会館「いずみホール」)と記念イベント(JR木津駅前西口広場)を同日開催。それぞれ多くの方にご来場いただき、盛大な祝福をいただきました。

平素から公立山城病院の運営にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。この度は、公立山城病院の新名称募集にたくさんのご応募をいただき、誠にありがとうございます。400通近い応募のなかから、病院が目指す将来像、スケール感、先進性などさまざまな要素を考慮し、「京都山城総合医療センター」に決定させていただきました。この名称をご提案いただいた3名の方につきましては、10月7日(日)に開催いたしました「山城病院開設60周年記念式典」にて、新名称の発表とともに表彰させていただきます。



■本津川市中央交流会館にて

1. 医療機器の整備と新規導入
2. 「優秀な医療スタッフ」の増員
3. 健全な病院経営の維持

左記の3項目を充足することが基本です。ところで、当院の医療機能を充実するには、といたしました。 「公立山城病院」が、住民の皆様から長年にわたり親しまれてきた歴史ある名称であることは十分認識しておりますが、これらの改革を実現する礎にしたいと考えています。

平素から公立山城病院の運営にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。この度は、公立山城病院の新名称募集にたくさんのご応募をいただき、誠にありがとうございます。400通近い応募のなかから、病院が目指す将来像、スケール感、先進性などさまざまな要素を考慮し、「京都山城総合医療センター」に決定させていただきました。この名称をご提案いただいた3名の方につきましては、10月7日(日)に開催いたしました「山城病院開設60周年記念式典」にて、新名称の発表とともに表彰させていただきます。

新名称募集にたくさんのご応募ありがとうございました。 来春、新生・公立山城病院が誕生します。

病院組合管理者(本津川市長) 河井 規子

のもと、これまで以上に地域の医療ニーズに応えられる診療機能の確保・充実と、患者の皆さま本意の医療サービスの提供を心がけてまいります。皆さまに期待される、そして全国的にも認知いただける「京都山城総合医療センター」を目指してまいりますので、旧に倍してのご協力とご指導いただきますようお願い申し上げます。



公立山城病院新聞

臨時号

日本医療機能評価機構
認定病院
Yamashiro
Public
Hospital

発行元
公立山城病院
電話.0774-72-0235
発行元責任者
中埜 幸治

公立山城病院の新名称が 「京都山城総合医療センター」に決定！ 新たな山城病院を 築いていくために

院長 中埜 幸治



■JR木津駅前西口広場にて

さて、数年前から「医療スタッフ」の充足について、病院の幹部職員のみならず医局の若手医師にも、病院の魅力を高めるための改革についての意見を聞き、議論をしてきました。先般医療への取り組みや住民の皆さんの信頼を高める取り組みを行っていくには、「病院の設備や医療スタッフ」が充実し、医師・看護師の教育・研修の整備と体制の確立」が欠かせないとの結論に達しました。

当院の常勤医師は基本的に京都府立医科大学各臨床教室からの派遣医師とインターネットで当院ホームページを閲覧し応募・就職した医師です。前期研修医については京都府立医科大学とのマッチングによる研修(2年間)を当院で1年間研修を行い、その後、府立医大病院ですらに1年間研修しています。3年目から後期研修医として当院に就職している医師もいます。看護師は、京都府、とくに京都山城南部地区や奈良市内からの就職者を中心とします。また、京都市内や近郊の看護専門学校と大学から、当院に毎年100名以上の学生が看護実習に来ています。

参加総勢約150名。多くの来賓者を迎え、 盛大な記念式典を開催しました。



■河井管理者(市長)による式辞

平成24年10月7日(日)、本津川市中央交流会館「いずみホール」において、公立山城病院開設60周年記念式典を開催。病院管理者であり、本津川市長でもある河井規子の式辞により午前9時30分から式典が始まりました。今回は、自治会、医師会、京都府および関係諸団体と病院関係者など総勢約150名が列席。来賓の方々から丁寧な祝辞をいただいたあと、病院運営に功労のあった方々ならびに各種団体の方々に感謝状の贈呈式を開催しました。さらに、病院の新名称募集によって決定された病院名「京都山城総合医療センター」を発表。決定にいたった審査過程を中埜院長より説明させていただいたうえで、選ばれた応募者3名様(内1名様は都合により欠席)を表彰いたしました。

長年、病院の運営に功労のあった方々に感謝状を贈呈

～ 式典プログラム ～

日時 平成24年10月7日(日)
午前9時30分～午前11時30分
場所 本津川市中央交流会館 いずみホール

- 一、開式
- 一、式辞
- 一、来賓祝辞
- 一、来賓紹介
- 一、祝電披露
- 一、感謝状贈呈
- 一、業務用公用車寄贈
- 一、新病院名発表
- 一、選考経過報告
- 一、表彰式
- 一、記念講演
- 一、閉式



福寿園さまから
公用車を寄贈いただきました

公立山城病院開設60周年を記念して、株式会社福寿園さまより、当院に業務用公用車としてプリウスαを寄贈していただきました。壇上で福井正憲代表取締役から河井管理者にゴールデンキーが手渡されると、ひととき大きな拍手で会場が包まれました。病院からは感謝の意を込めて、河井管理者から感謝状が贈呈されました。



記念講演

講演テーマ 「心の健康」

西大寺宗務長 浄瑠璃寺住職 佐伯 快勝

佐伯住職は1932年に奈良でお生まれになり、奈良教育大学を卒業。中学校教諭につかれた後、61年に浄瑠璃寺に入山されました。68年から同寺のご住職となられ、96年からは真言律宗本山西大寺宗務長を務められています。今回は、記念式典の記念講演として、ご住職に約60分のご講話をいただきました。ほんとうの健康はからだだけでなく、心のなかから育まれるもの。心の健康がいかに大切であるかについて、ご自身の人生体験を通じてお話いただきました。



秋晴れのさわやかな日差しの中、JR木津駅前西口広場で 開設60周年記念イベントを開催。多くのご家族連れでにぎわいました。



平成24年10月7日(日)、晴天に恵まれた秋晴れのなか、公立山城病院の開設60周年記念イベントを病院を支える事業者の会(あすなろ会)のご協力のもと、JR木津駅前西口広場で行いました。当日は農産物販売コーナーや野点コーナー運営のために、各市町村JAの方々、木津高等学校の生徒のみならずにもご協力いただき、ほんとうにありがとうございました。おかげさまで1500人あまりの来場者をお迎えすることができ、地域のみならずひとときの秋の一日を楽しんでいただきました。



木津川市マスコットキャラクター
いづみ姫

木津川市のマスコットキャラクター「いづみ姫」も祝いました

「みなさん、こんにちは。ただいまより公立山城病院開設60周年記念イベントを開催させていただきます」
司会者の元氣な宣言とともに、いよいよ記念イベントの開幕です。広場には午前10時の開催を待ちきれずに足を運んでいただいたご家族連れもけっこういらっしゃいました。



開会式の宣言に続いて登場したのは、木津川市のマスコットキャラクターとして昨年誕生した「いづみ姫」です。桜とコスモスの花が好きで、おにぎりの好きな愛くるしい女の子。好きなひとは「まゆまる」君ですが、まだ片思いだとか。先日、奈良の遷都くんから告白されたそうですが、お返事はまだしていません。いづみ姫の話もあかしてくれました。いづみ姫は子供たちだけでなく大人の方にもとても人気があり、会場ではたくさんの方と記念撮影をしていました。



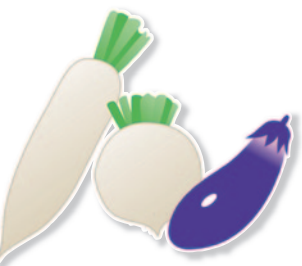
テレビやビデオゲーム世代の子どもたちも興味しんしん

学生時代、サークルで人形劇に取り組まれ、全国各地の小学校をまわりながら公演されていたという塚田高司さん。そのとき出会った子どもたちの笑顔が忘れられないと、数年前に一念発起し紙芝居を始められたそうです。ふだんはお米屋さんと文具店を営むかたわら、毎日、木津川市各地の公園で紙芝居を上演され「たかちゃん」の紙芝居として市内の子供たちに大人気です。最近、NHKのドキュメント番組でも取り上げられ、そ



各市町村JAの協力による野菜販売コーナー

各市町村JAの方たちに、朝早くから収穫された新鮮な野菜を届けていただきました。たくさん野菜や物産を前に、待ちきれない方は10時の開場前から品定めをしておられました。色とりどりの野菜にまじって、天然酵母のパンや無農薬のお米、手づくりおやつなども販売。早いものは昼前には売り切れ。来場者はたくさん。抱えながら、あつちをのぞきこちで調理法を聞いたりなど、秋の朝市を楽しんでおられました。



お点前も堂に入ったもの。京都府立木津高等学校茶道部の協力による野点

広場のなかでひとときまじり赤い和傘に緋色の毛せん。お点前を披露してくれたのは、京都府立木津高等学校茶道部の生徒さんです。茶道の先生が見守るなか、なれた手つきで堂々の所作。お茶を所望された来場者のほうが、緊張した面持ちで眺めておられました。たくさんのお茶菓子を、ご用意しました。好評で午前中の早い時間に品切れとなりお茶菓子もお茶も急遽追加させていただきました。



それが縁でテレビドラマにも登場されたそうです。ふだんテレビやビデオゲームに慣れ親しんでいる子どもたちにとっては、「たかちゃん」の身振り手振りをまじえた熱弁が、とても新鮮にうつったようです。また、子供達に負けないくらい喜んでいただけたのが年配の皆さまでした。昔の紙芝居を思い出しながら楽しそうに塚田さんの紙芝居をご覧頂いていました。



和洋の演奏と、真打ちは5歳のかわいい音楽家たち

ステージに雅な箏曲が流れ始めました。『箏曲グループ奏(かなで)』のみなさんです。伝統楽器の音色を通じて和の感性を広く伝えたいと、ふだんから公民館や自宅稽古場で練習を重ねられています。大阪三曲、奈良三曲演奏をはじめ木津川市文化協会などでも演奏されています。花のように美しい雰囲気、満ちた琴の調べが広場に響きわたると、来場者のみなさんもひととき、雅な世界に引き込まれていました。



■箏曲グループ奏(かなで)



■グリーンヒルボーイズ



■社会福祉法人愛光保育園の5歳児みどり組



昔懐かしいポン菓子も、いまの子どもたちには新しい

今回は曾根米穀店さんのご好意で、ポン菓子の実演とブレゼントを行っていただきました。「ポン」という圧縮釜のはじける音に、お母さんの後ろにあわてて隠れる子どもや、興味いっぱいポン菓子ブレゼントの列に争って並ぶ子どもたち。大人の方も懐かしいポン菓子の実演は大好評で、出来立てのポン菓子を「まだ熱いね」といながら美味しそうに試食されていました。その後は餅つき大会も行われ、子どもたちはつきたてのお餅に、できたてのポン菓子と、食べるのに大忙しの一日でした。



看護フェスタ

「看護フェスタ」を開催して

10月7日に山城病院開設60周年記念イベントが木津駅前で開催され前日の雨がさらすように朝から秋晴れに恵まれ多くの方が参加されました。そのなかで看護フェスタを行いました。身長・体重測定、血圧測定、体脂肪測定、ふだんあまり測定する機会がない血管年齢測定、骨密度測定などが人気でした。健康相談では健康に関する疑問や測定結果についてなど多くの医師が対応しました。



健康フォーラム

「健康フォーラム」の開催にあたって

今回、山城病院開設60周年記念イベントに於いて、「健康の大切さ」を語った健康フォーラムを開催致しました。例年、生活習慣病フォーラムとして平成14年より毎年、動脈硬化症・メタボリックシンドローム・運動療法等をテーマに講演会を開催し今年で11回目を迎えます。生活習慣病といいますが、日常生活と密接な関係がある事はみなさんご存知だと思います。すこやかに21プラン事業調査の結果からも、健康に対する関心度が高い事が伺え健康フォーラムでも中院長の話に興味深く、真剣な眼差しで聞かれています。印象的でした。



抱えている方が増えています。心の健康を保つ方法の一つとして、アロマテラピーがあります。健康フォーラムでは、アロマテラピーインストラクターの資格を持つアロマセラピストからアロマの効用や種類、方法等の説明がありました。アロマという聞き慣れない言葉から始められてはいますが、アロマが「気に入らな」から健康フォーラムの最後は、みなさんと共に山城病院音頭を踊り、なごやかな雰囲気の中、約1時間のフォーラムが終わりです。「健康は、ご自身だけでなく、ご家族への愛情ではないか」と思っています。これから、山城病院は、地域住民のみならず共に歩み、最新の医療を提供し、患者さま、ご家族に寄り添える看護を目指していきたいと思っております。微力ながら私も精進していきたいと思っておりますので、これからよろしくお願いいたします。

今回は曾根米穀店さんのご好意で、ポン菓子の実演とブレゼントを行っていただきました。「ポン」という圧縮釜のはじける音に、お母さんの後ろにあわてて隠れる子どもや、興味いっぱいポン菓子ブレゼントの列に争って並ぶ子どもたち。大人の方も懐かしいポン菓子の実演は大好評で、出来立てのポン菓子を「まだ熱いね」といながら美味しそうに試食されていました。その後は餅つき大会も行われ、子どもたちはつきたてのお餅に、できたてのポン菓子と、食べるのに大忙しの一日でした。

